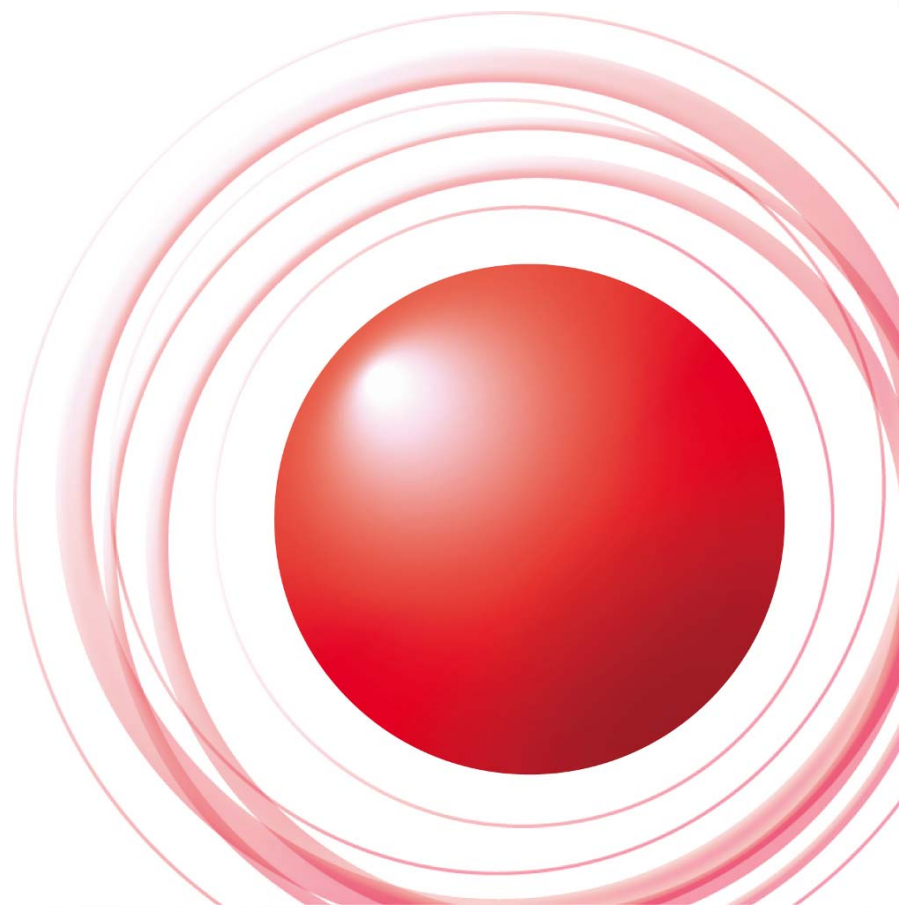


2011年3月期 第1四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）
2010年8月13日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I. 2011年3月期第1四半期 総括

II. 2011年3月期第1四半期 連結業績

III. ご参考資料

I . 2011年3月期第1四半期 総括

《2011年3月期第1四半期 実績》

・営業収益(売上高)	15,813百万円	(前年同期比 0.1% 減)
・売上総利益	3,025百万円	(前年同期比 0.9% 増)
・営業利益	266百万円	(前年同期比 24.3% 減)
・税引前四半期純利益	279百万円	(前年同期比 6.9% 減)
・当社株主に帰属する四半期純利益	247百万円	(前年同期比 36.8% 増)

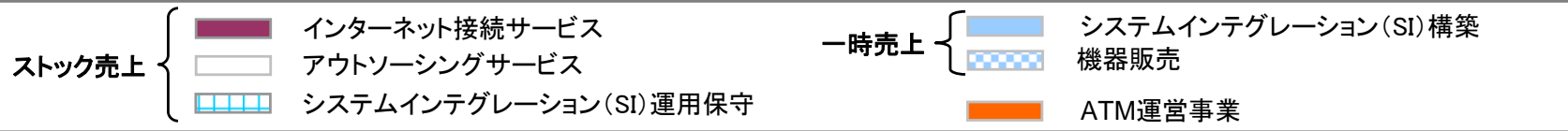
- **接続・アウトソーシング売上は前年同期比2.0%増、SI売上は前年同期比4.7%減**
 - アウトソーシング売上はメール関連、セキュリティ関連、データセンター関連等のサービス契約積上げにより継続増加
 - SI運用売上は大口顧客減額影響があり前年同期比10.8%減、SI構築売上は前四半期からの持ち越し案件もあり前年同期比11.5%増、SI構築受注金額は前年同期比22.3%増、受注環境は前年比徐々に復調傾向
- **期初は売上規模が小さいなか年度費用増要因によりコスト高傾向**
 - 連結従業員数は前年同期比67名増、2010年4月入社新卒新入社員数は60名
- **クラウドコンピューティングサービス「IIJ GIO」は順調に案件増加**
 - IIJ GIOを基盤としたメールサービス等のアプリケーションサービス案件等を徐々に受注
 - 更なるサービス拡充やコスト削減により一層の競争力強化を推進、今後2～3年での売上寄与拡大を期待
- **AT&TジャパンよりWANサービス等の国内ネットワークアウトソーシングサービス関連事業を譲受(2010年6月1日公表)**
 - AT&Tジャパンより取得対象事業を営む子会社株式を取得、完全子会社化(2010年9月1日付予定)
 - 取得予定価格: 91.7億円(自己資金及び短期銀行借入金にて予定)
 - 顧客基盤の更なる拡大(既存約6,500社→7,800社)、サービス提供領域の拡大、クロスセリング強化、営業力強化、アジアを中心とする国際展開の推進により、中長期での事業規模拡大を展望

Ⅱ-1. 2011年3月期第1四半期 連結実績サマリー

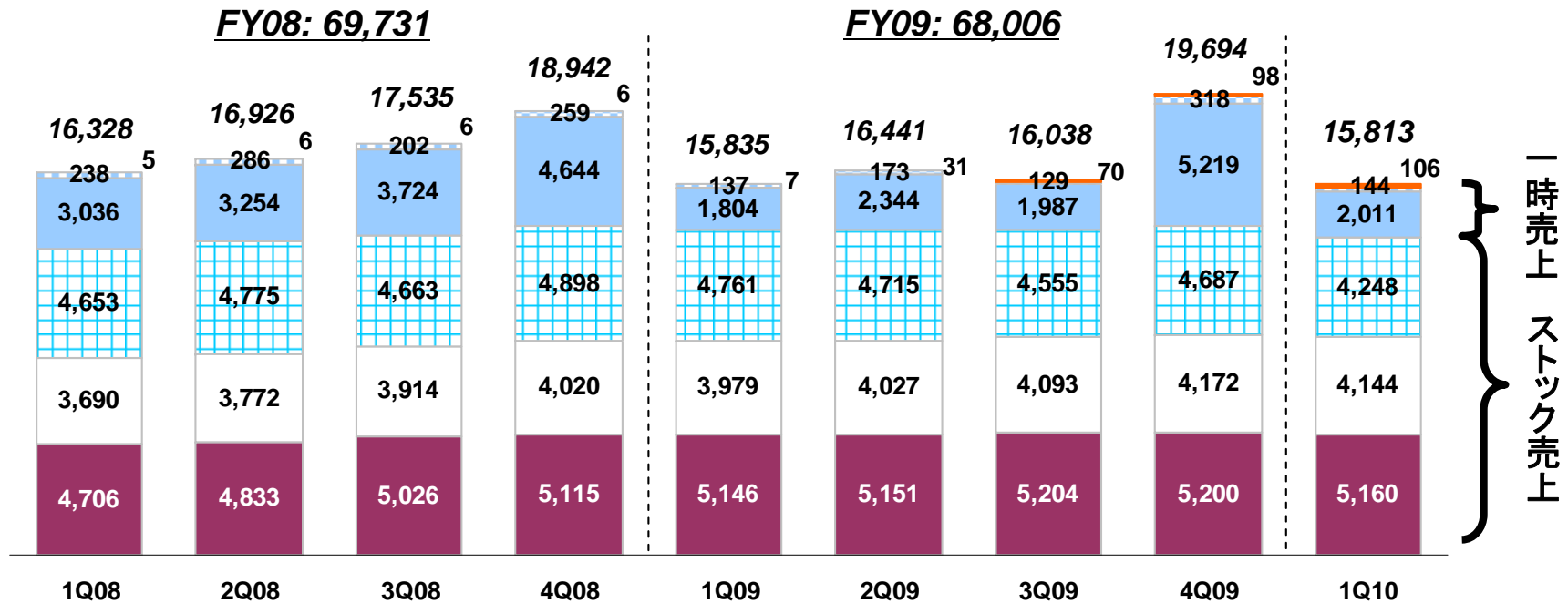
単位: 億円

	売上比 1Q10 (10/4~10/6)	売上比 1Q09 (09/4~09/6)	前年同期比	
営業収益 (売上高)	158.1	158.3	△0.1%	▶ 1Qは例年売上規模が小さく、 ほぼ想定どおりの着地
売上原価	80.9% 127.9	81.1% 128.4	△0.4%	
売上総利益	19.1% 30.3	18.9% 30.0	0.9%	▶ 売上総利益、売上総利益率は ほぼ横ばい
販売管理費等	17.5% 27.6	16.7% 26.5	4.3%	▶ 新入社員の入社等、年度変更に伴う 人件関連費用等が増加
営業利益	1.7% 2.7	2.2% 3.5	△24.3%	▶ ATM運営事業営業損失 1Q10: 161百万円 1Q09: 233百万円
税引前四半期純利益	1.8% 2.8	1.9% 3.0	△6.9%	
当社株主に帰属する 四半期純利益	1.6% 2.5	1.1% 1.8	36.8%	▶ 税効果会計による法人税等調整額 1Q10: 88百万円(損) 1Q09: 186百万円(損)

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



単位:百万円

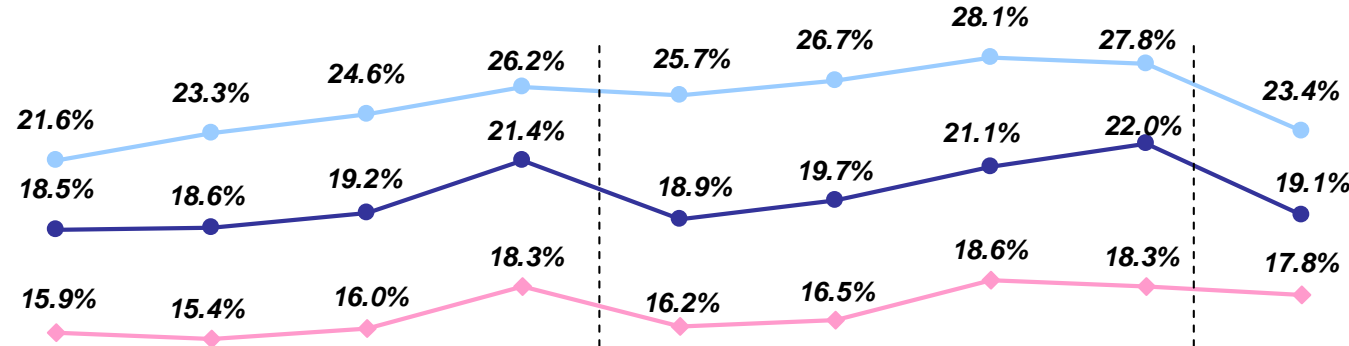


- ◆ ストック売上: 13,552百万円(1Q09比 2.4%減、4Q09比 3.6%減)
 - ⇒ 1Qは例年年度変更での値下げ圧力等があり伸びは鈍化傾向
 - インターネット接続サービス: 1Q09比 0.3%増、4Q09比 0.8%減
 - アウトソーシングサービス: 1Q09比 4.1%増、4Q09比 0.7%減
 - SI運用保守: 1Q09比 10.8%減、4Q09比 9.4%減
- ◆ 一時売上: 2,156百万円(1Q09比 11.1%増、4Q09比 61.1%減)
 - SI構築: 1Q09比 11.5%増、4Q09比 61.5%減
- ◆ ATM運営事業売上: 1Q09比 98百万円増、4Q09比 7百万円増

II-3. 売上原価・売上総利益率の推移

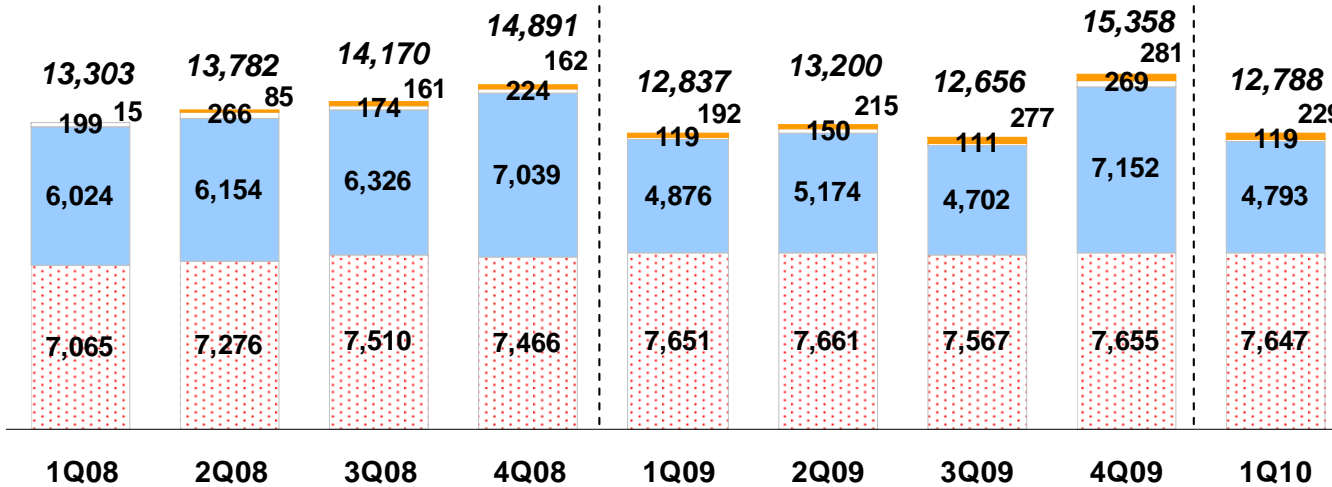
売上原価 ■ インターネット接続及びアウトソーシングサービス ■ システムインテグレーション ■ 機器販売 ■ ATM運営事業
売上総利益率 ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス ● システムインテグレーション ● 全体売上総利益率

単位: 百万円



FY08 : 56,146

FY09 : 54,051



システムインテグレーション売上原価

仕入、外注関連、設備関連、
人件関連費用 等

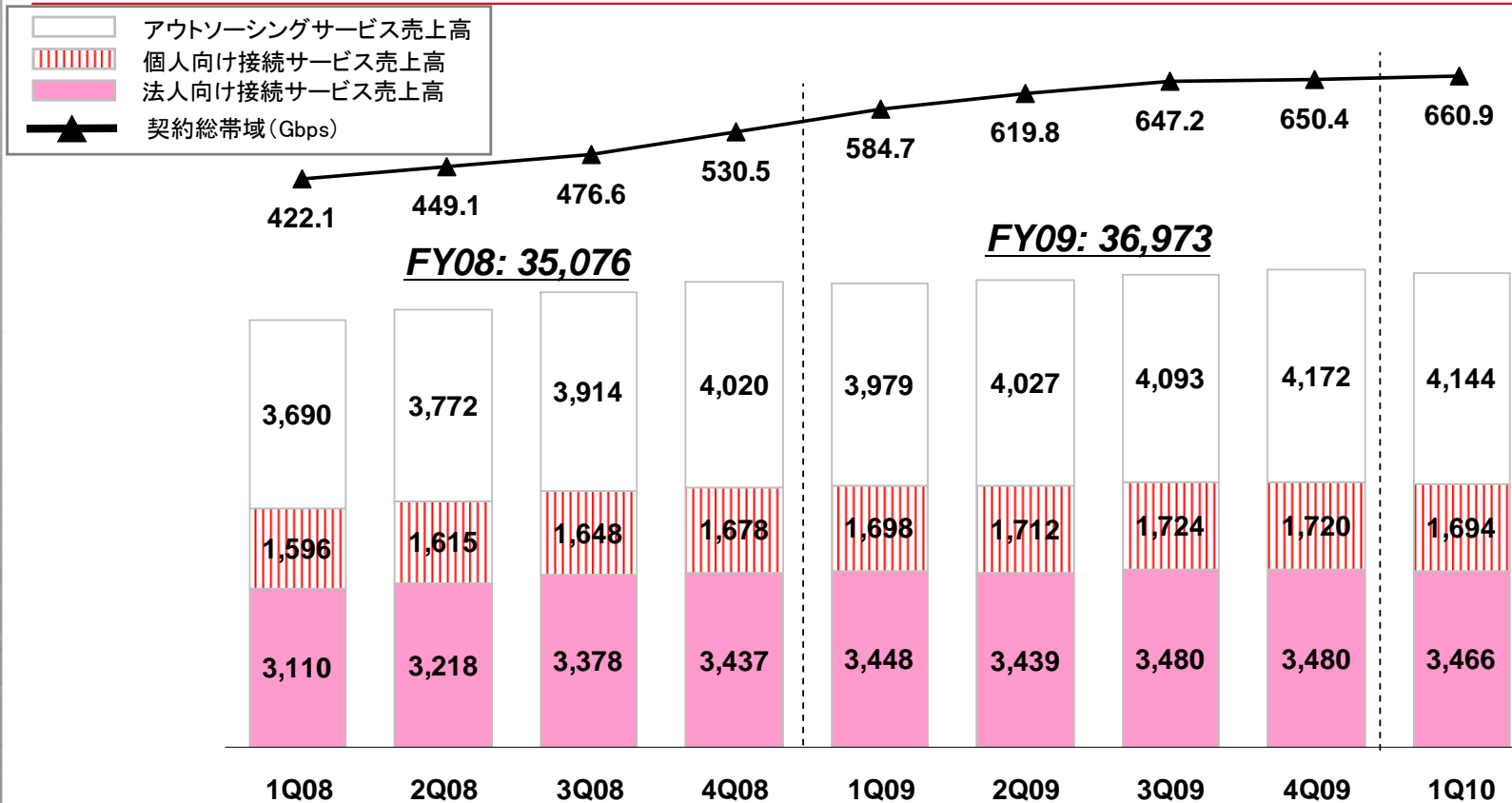
インターネット接続及び
アウトソーシングサービス売上原価

バックボーン等回線関連、
ネットワーク等設備関連、
外注関連、人件関連費用 等

- ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価: 1Q09比、4Q09比 共に若干減
売上総利益率: 1Q09比 1.6ポイント増、4Q09比 0.5ポイント減
- ◆ システムインテグレーション原価: 1Q09比 1.7%減、4Q09比 33.0%減
売上総利益率: 1Q09比 2.3ポイント減、4Q09比 4.4ポイント減
- ◆ ATM運営事業原価: 1Q09比 37百万円増、4Q09比 51百万円減

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ① 売上の推移

単位:百万円



◆ 法人向け接続サービス: 1Q09比 0.5%増、4Q09比 0.4%減

- 4Q09比: IIJモバイルサービス売上が増加した一方、期初における価格見直し影響等から若干減
- 1Q10末にてGbps超の契約は123件、1Q09末比 21件増、4Q09末比 2件減

◆ 個人向け接続サービス: 1Q09比 0.2%減、4Q09比 1.5%減

- 4Q09比: 個人向けモバイルサービス売上が増加した一方、予定済の個別OEMサービスの終了影響等により若干減

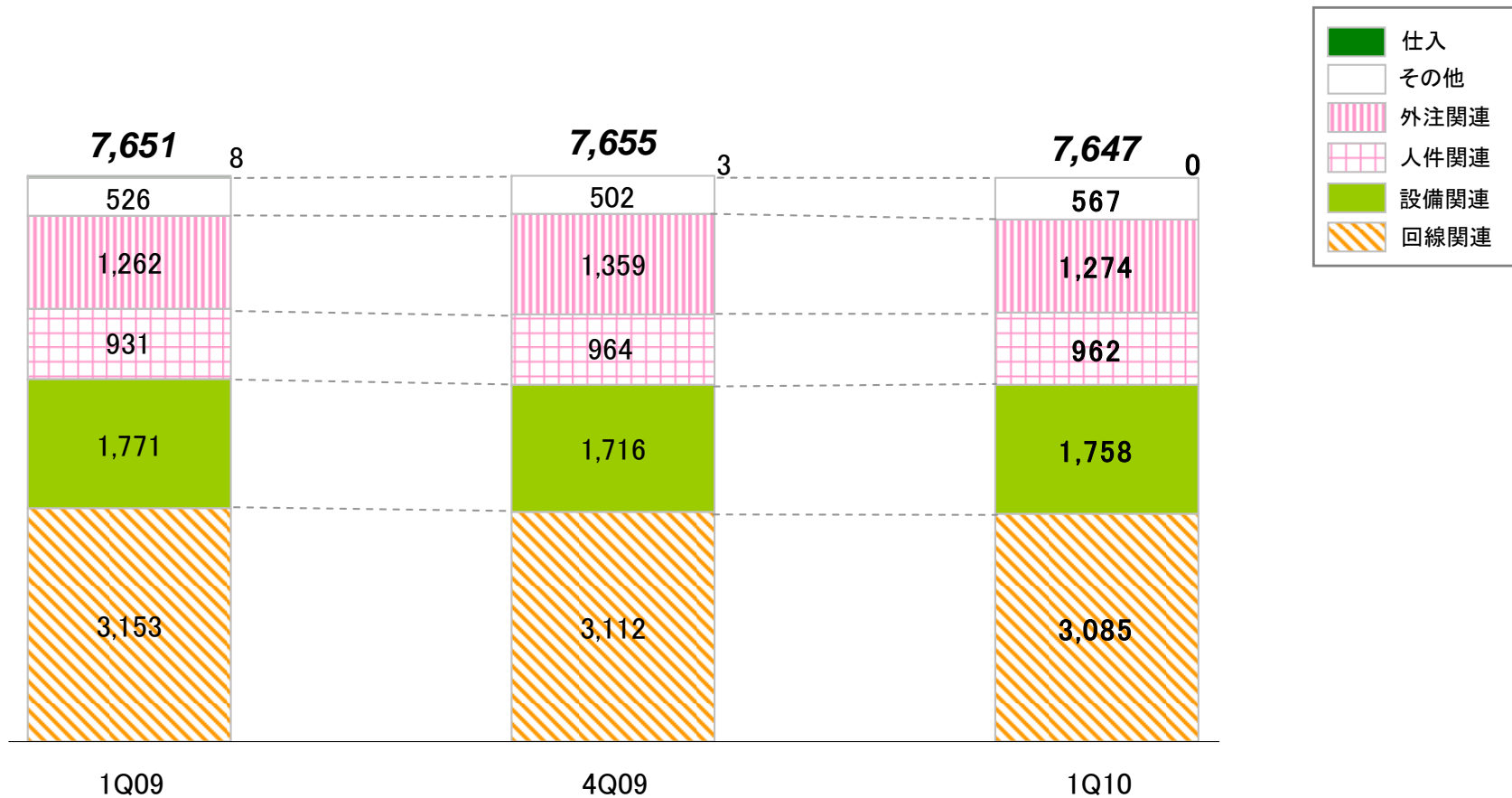
✓ モバイルサービスは既存大口契約の解約があり受注回線数は累計4万回線超(4Q09比微増)、M2M向け等に注力し更なる契約増を推進

◆ アウトソーシングサービス: 1Q09比 4.1%増、4Q09比 0.7%減

- 4Q09比: 4Q09は一時的増加要因があり4Q09比微減となったものの、迷惑メール対策の「IIJセキュアMXサービス」やWeb経由のウイルス感染や情報漏洩を防ぐ「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」等のサービス契約数は堅調に増加
- クラウドサービス「IIJ GIO」は幅広い業種より順調に案件増加。現状はお試し利用の小型案件が多いものの、IIJ GIOを基盤としたメールサービス等の中大型案件も順次受注。サービス拡充や運用効率化、コンテナDC構築によるコスト削減を実施し一層の競争力強化を推進

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ② 原価の推移

単位:百万円

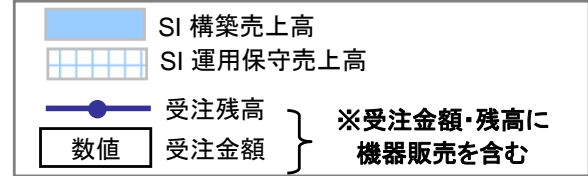
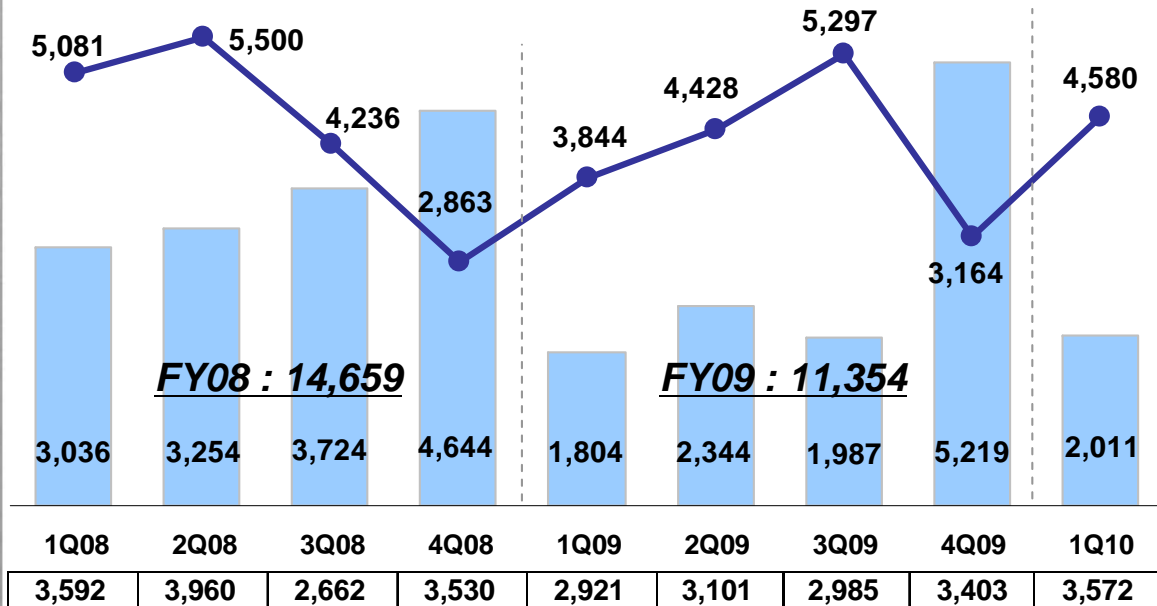


◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価総額：1Q09比、4Q09比 若干減

- 1Q09、4Q09、1Q10と総じてほぼ横ばいで推移
- 今期にて、売上増加に伴う原価総額の増加は想定するが、急激、大幅な増加はないものと展望

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

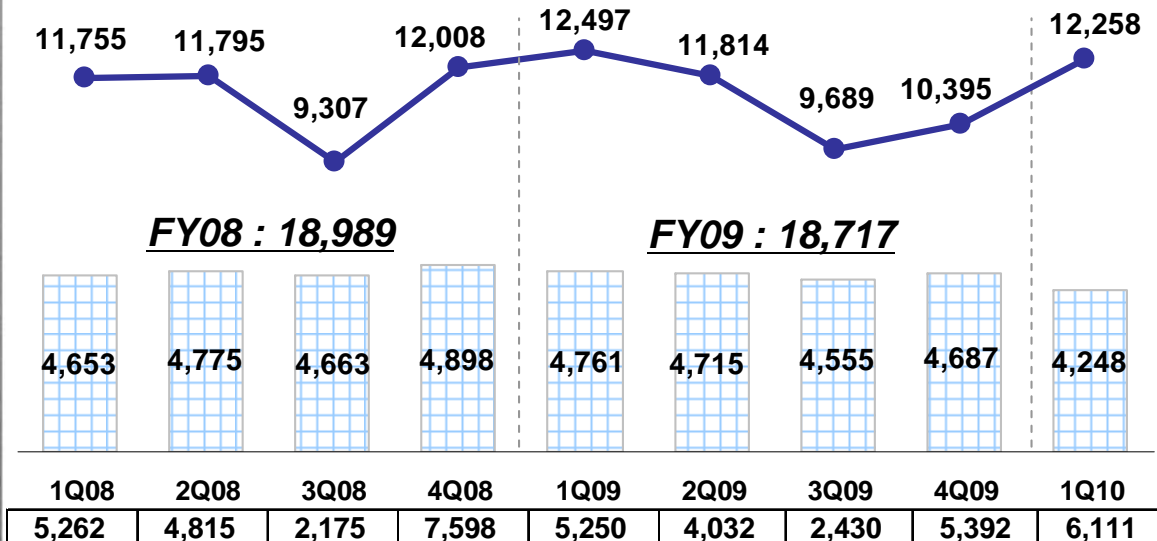
<SI 構築>



SI 構築の状況

- ◆ 売上 1Q09比 11.5%増、4Q09比 61.5%減
- ◆ 受注残高 1Q09末比 19.1%増、4Q09末比 44.8%増
- 1Q売上は季節要因から例年低水準、下期偏重
- 1Q09比: 個別大口顧客の取引縮小(5.7億円)があったものの、4Q09からの持ち越し案件もあり売上増加
- 受注金額は1Q09比22.3%増加、公共系等で大口案件を複数受注

<SI 運用保守>

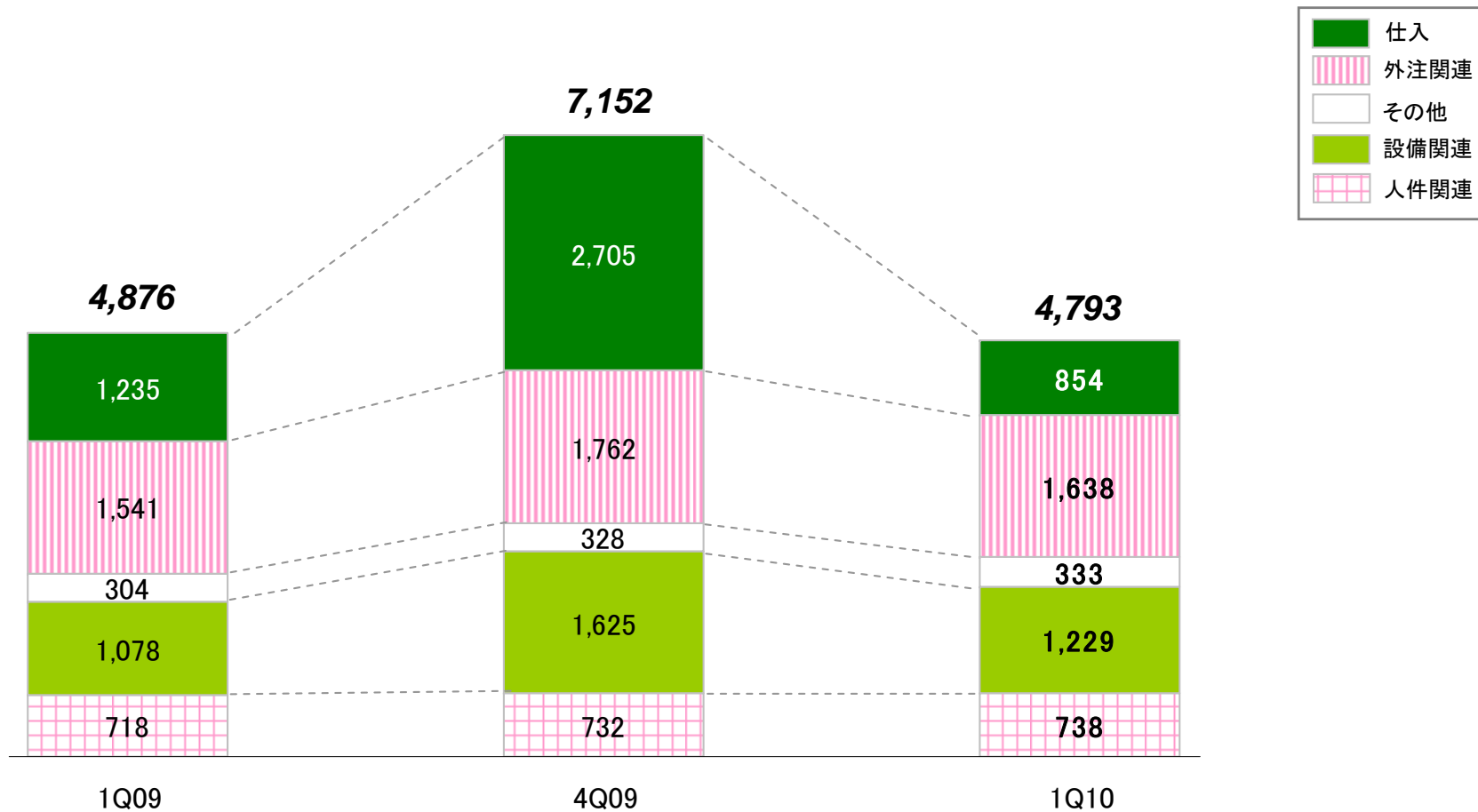


SI 運用保守の状況

- ◆ 売上 1Q09比 10.8%減、4Q09比 9.4%減
- ◆ 受注残高 1Q09末比 1.9%減、4Q09末比 17.9%増
- 1Q09比: 個別大口顧客の取引縮小(6.6億円)があり、売上減少
- 受注金額は1Q09比16.4%増加、受注残高は1Q09比ほぼ同水準
- 構築案件の復調傾向に伴い徐々に受注積上げ、今後復調を展望

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

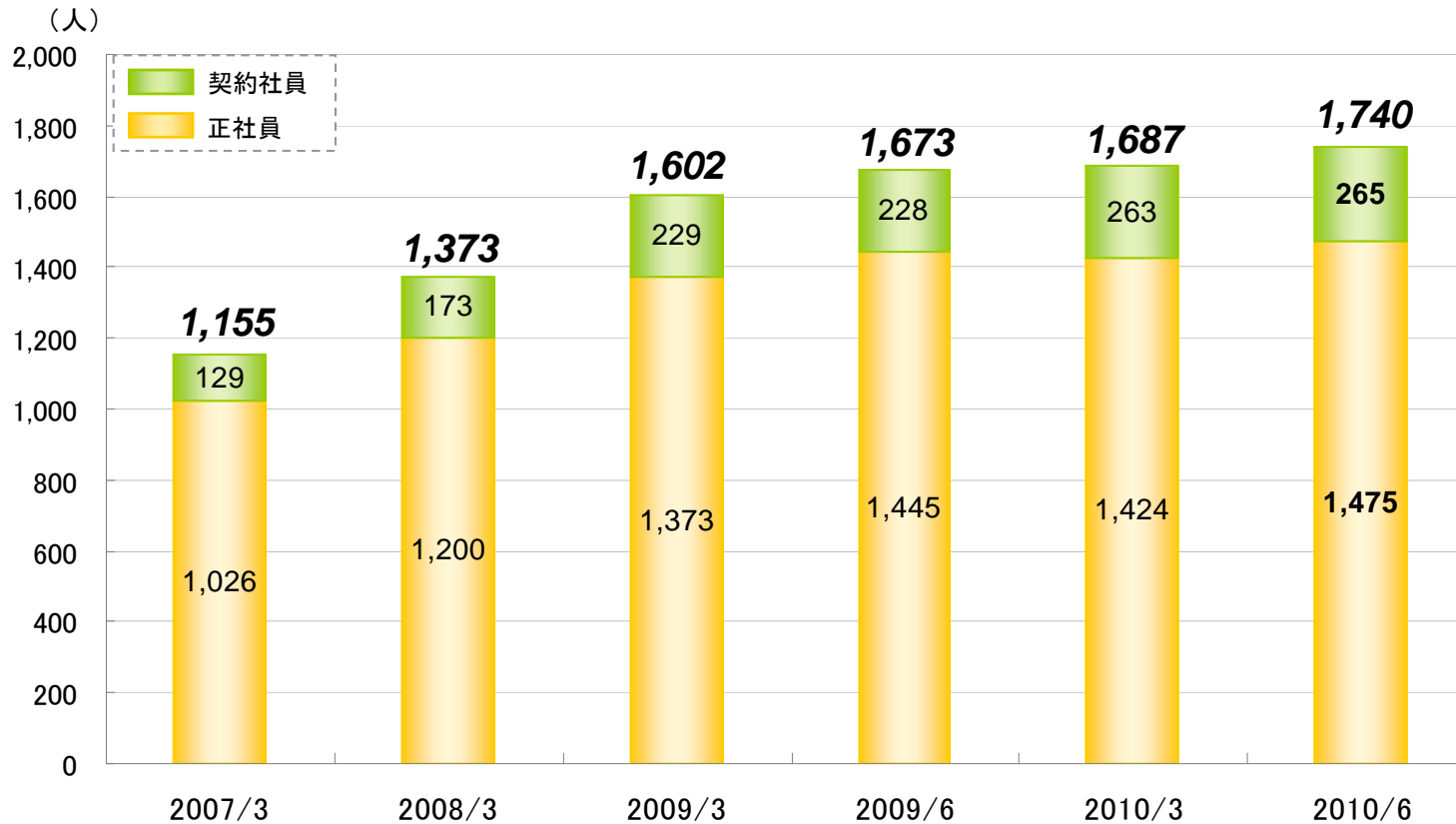
単位: 百万円



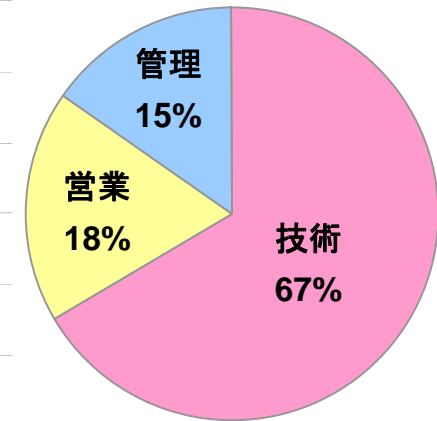
◆ SI 原価総額: 1Q09比 1.7%減、4Q09比 33.0%減

- 1Q09比: 設備関連、外注関連費用が増加したものの仕入が減少
- 4Q09比: 売上高の減少に伴う仕入の減少、設備関連費用減少
- 常駐外注人員数は341名(1Q09末比 119名増、4Q09末比 29名増)、案件増加に伴い増加

Ⅱ-6. 連結従業員数の推移



<分野別人員構成>



四半期ベース
人件関連費用総額
(売上高比率)

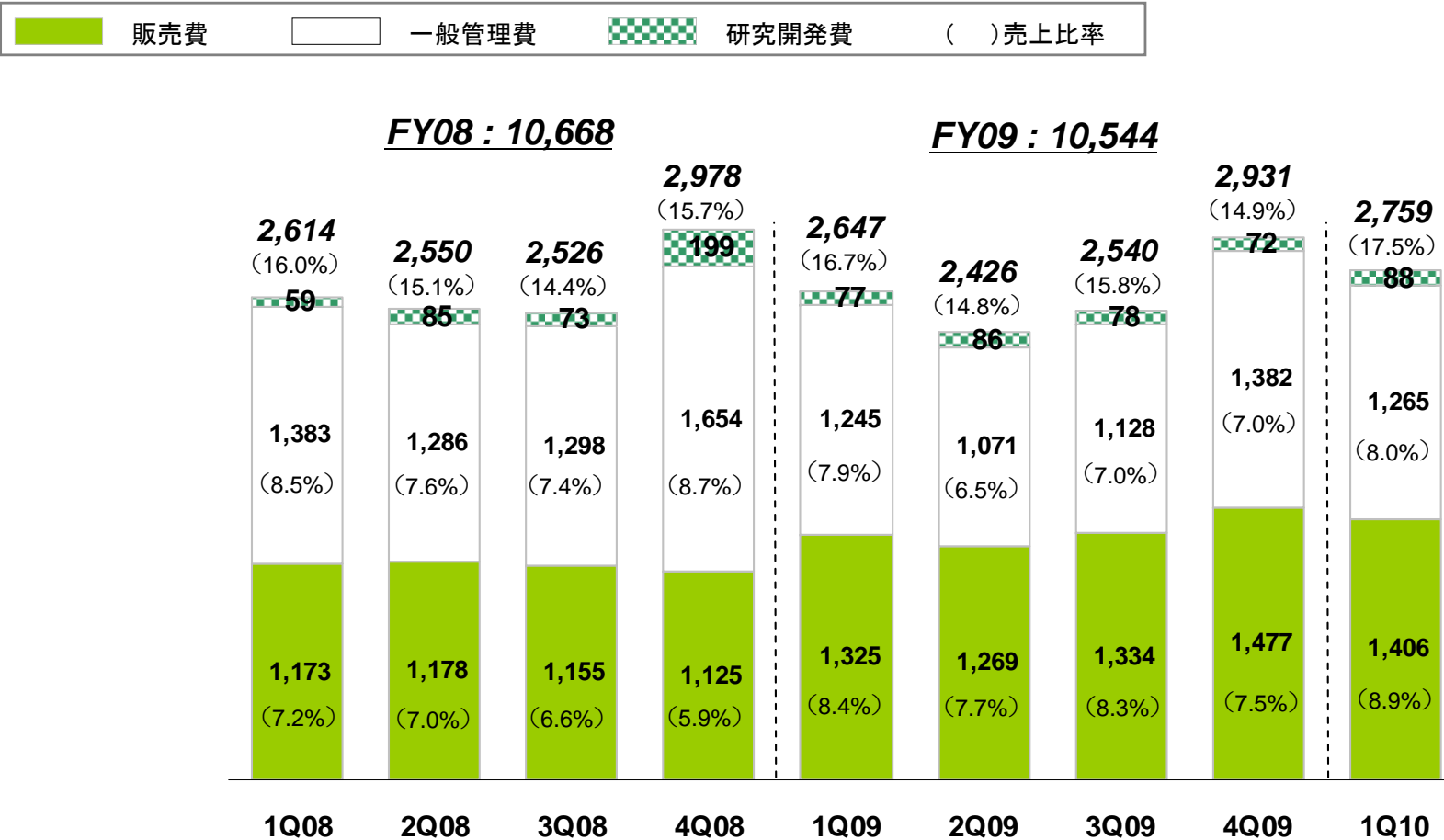
2,771 (17.5%)	2,887 (14.7%)	2,925 (18.5%)
------------------	------------------	------------------

単位: 百万円

- ◆ 連結従業員数: 1Q09末比 67名増、4Q09末比 53名増
 - ▶ 2010年4月入社新卒新入社員数60名(09年4月実績: 77名、08年4月実績: 92名)
- ◆ 人件関連費用: 1Q09比5.6%増(154百万円増)、4Q09比1.3%増(38百万円増)

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費の推移

単位:百万円



◆ 販売費、一般管理費、研究開発費: 1Q09比 4.3%増、4Q09比 5.9%減

- 販売費: 1Q09比: 人員増に伴い人件関連費用が増加
4Q09比: 人員増に伴い人件関連費用が増加した一方、減価償却費等が減少
- 一般管理費: 1Q09比: 減価償却費等が増加
4Q09比: 4Q09にあった一時除却がなかったことによる反動減等
- ATM運営事業に係る販売管理費: 37百万円(1Q09: 49百万円、4Q09: 88百万円)
事業立ち上げに注力しつつ、外注費削減等コストコントロール実施

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移

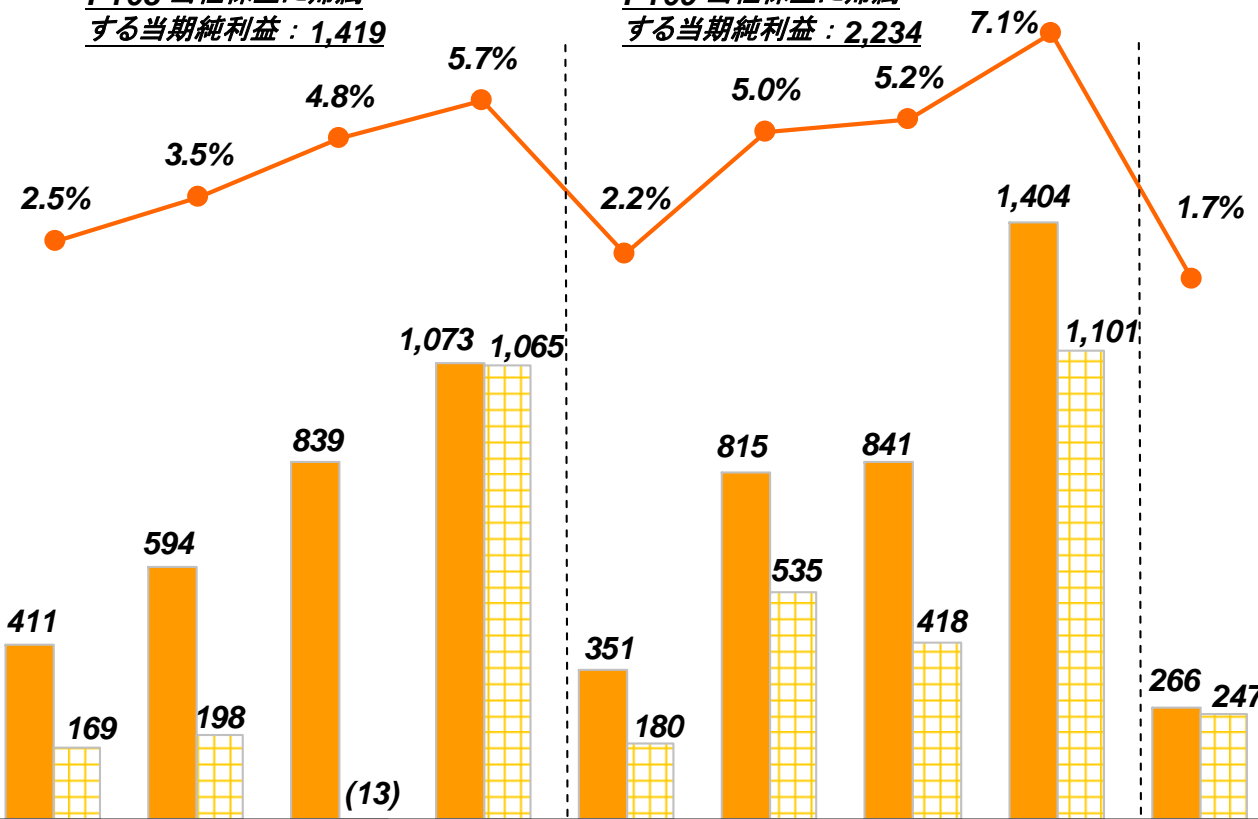
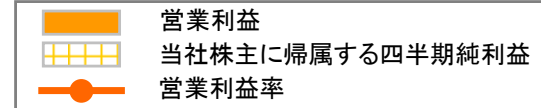
FY08 営業利益 : 2,917

FY08 当社株主に帰属
する当期純利益 : 1,419

FY09 営業利益 : 3,412

FY09 当社株主に帰属
する当期純利益 : 2,234

単位:百万円



◆ 営業利益:

1Q09比: 接続・アウトソースの粗利が増加した一方、SI売上減少に伴う粗利減少や販管費増加により減益

◆ 税引前利益:

1Q09比: 支払利息の減少、受取配当金及び投資有価証券売却益の増加等があったものの営業利益減少により減益

◆ 当社株主に帰属する四半期純利益:

1Q09比: 税効果会計による法人税等調整額(損)の減少等により増益

▶ 非支配持分に帰属する四半期純損失はGDJ Japan及びトラストネットワークスに係る損失を計上

◆ ATM運営事業の営業損失推移:

単位:百万円

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
売上高	7	31	70	98	106
原価	192	215	277	281	229
販管費	49	50	56	88	37
費用合計	240	265	333	369	266
営業損失	△ 233	△ 234	△ 263	△ 270	△ 161

▶ 2010/8/13現在 ATM設置台数: 計140台

▶ 連結子会社(株)トラストネットワークス
出資比率 74.2% (2010/7末現在)

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
法人税等	213	326	653	△190	244	284	514	90	120
税効果会計による 法人税等調整額	127	251	594	△335	186	187	418	△34	88
持分法投資損益	18	△17	44	△10	32	11	85	32	34
非支配持分に帰属する 四半期純損失	55	85	120	93	93	82	90	83	54

Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位:百万円

	2010年6月末	2010年3月末	前期末比	
現金及び現金同等物	9,137	8,764	+373	
売掛金	9,635	11,397	△ 1,761	▶ SI案件減少により減少
たな卸資産	639	808	△ 169	▶ 賞与支払等により増加
前払費用	3,019	1,593	+1,426	
繰延税金資産(流動)	1,446	1,571	△ 125	▶ 非上場株式 1,486百万円 ▶ 上場株式等売却可能有価証券 888百万円 ▶ 出資金等 268百万円
その他投資	2,642	2,582	+60	
有形固定資産	13,221	12,970	+251	
のれん及び その他無形固定資産	5,375	5,459	△ 83	▶ 非償却無形固定資産残高 2,806百万円 うち、のれん 2,614百万円 商標権 192百万円 ▶ 償却対象無形固定資産残高 2,560百万円 うち、顧客関係 2,486百万円 ライセンス 74百万円
繰延税金資産(非流動)	573	685	△ 112	
銀行借入金(短期)	4,520	4,450	+70	
欠損金	△16,726	△16,720	△ 6	
その他包括利益累計額	144	169	△ 25	
当社株主に帰属する 資本合計	27,288	27,320	△ 31	▶ 当社株主に帰属する資本比率 (株主資本比率) 53.7%
総資産	50,805	51,115	△ 310	

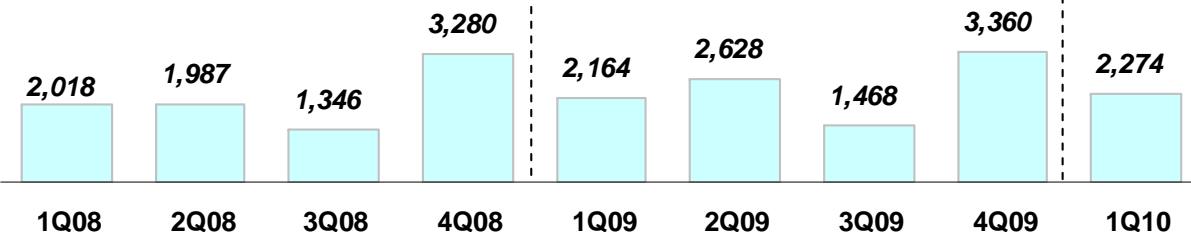
Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フローの状況

営業キャッシュ・フロー

単位: 百万円

FY08 : 8,631

FY09 : 9,621

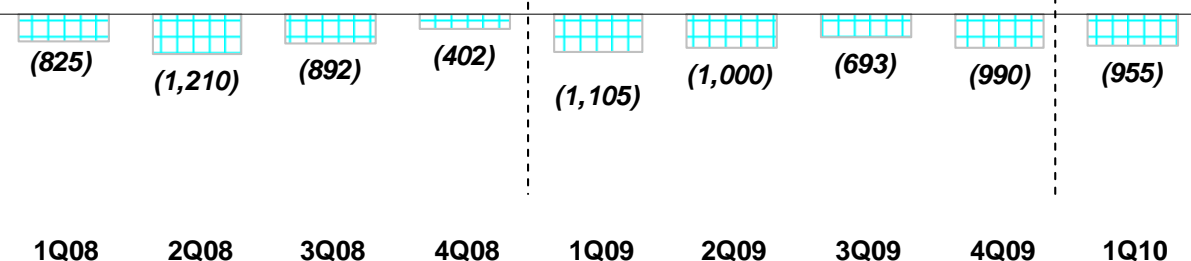


- ▶ 売掛金の減少 1,768百万円
- ▶ 未払費用、その他流動負債及び
その他固定負債の増加 1,085百万円
- ▶ たな卸資産・前払費用、その他
流動資産及びその他固定資産の増加
△1,084百万円
等

投資キャッシュ・フロー

FY08 : (3,328)

FY09 : (3,788)

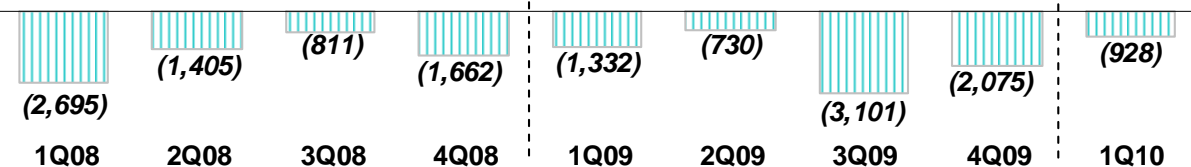


- ▶ 有形固定資産の取得 △913百万円
- ▶ その他投資の取得 △50百万円
- ▶ 売却可能有価証券の取得 △36百万円
等

財務キャッシュ・フロー

FY08 : (6,573)

FY09 : (7,238)

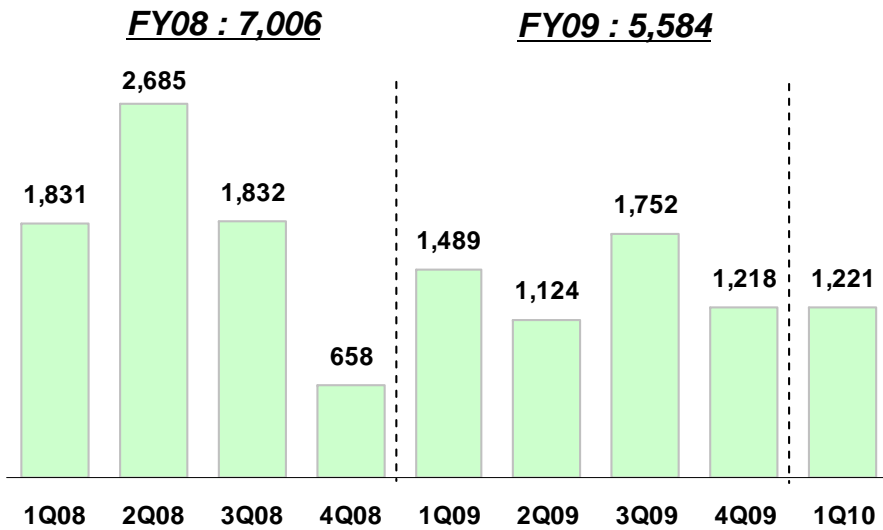


- ▶ キャピタル・リース債務の元本返済 △745百万円
- ▶ 配当金の支払 △253百万円
- ▶ 短期借入金による調達 70百万円
等

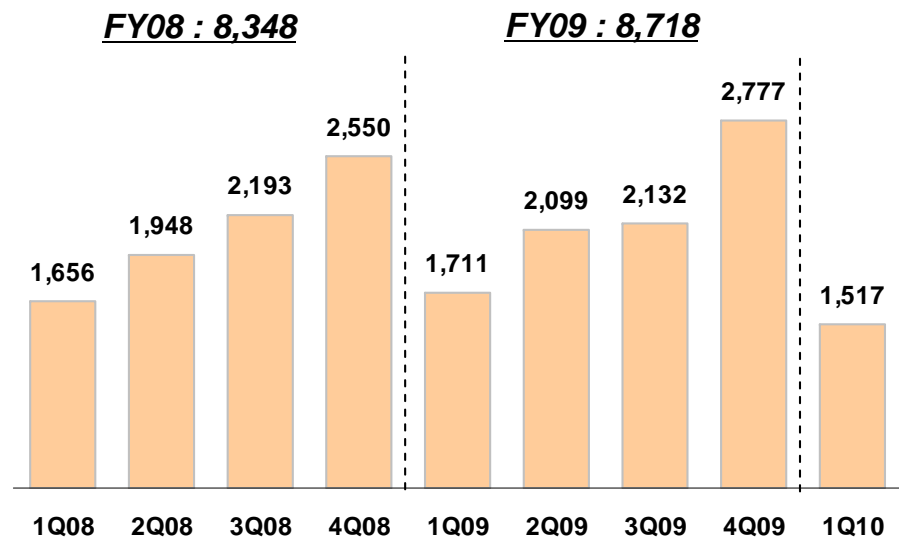
Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

単位:百万円

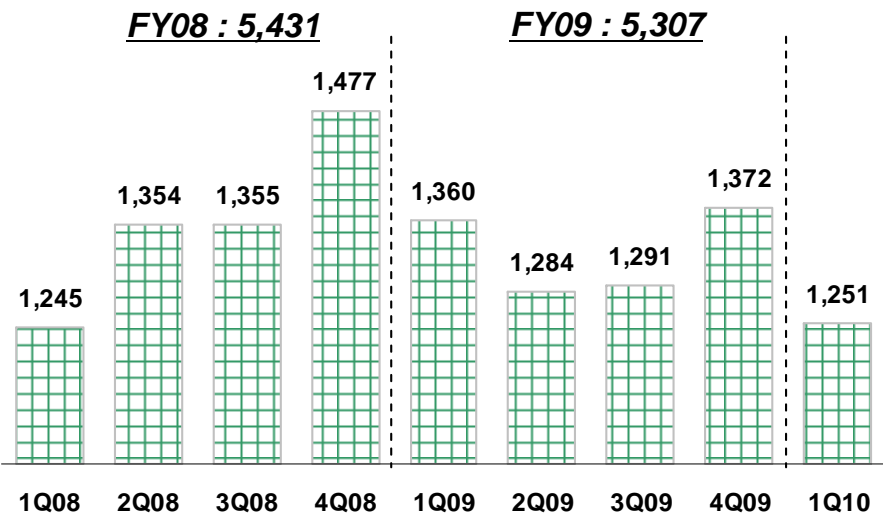
CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)



減価償却



Ⅲ-1. ご参考:2011年3月期連結業績見通し(6/1付上方修正)











単位:百万円

	FY10 当初見通し (10/4~11/3)	FY10 見通し (10/4~11/3)	FY09実績 (09/4~10/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	71,000	84,500	68,006	16,494	24.3%
営業利益	4,300	4,800	3,412	1,388	40.7%
税引前 当期純利益	3,700	4,100	2,859	1,241	43.4%
当社株主に帰属する 当期純利益	2,600	3,000	2,234	766	34.3%
一株当たり当社株主 に帰属する 当期純利益	12,837円	14,812円	11,030円	3,782円	34.3%
一株当たり 配当金	2,500円	2,500円 (年間)	2,250円 (年間)	250円	11.1%

▶ AT&TジャパンよりWANサービス等の国内ネットワークアウトソーシングサービス関連事業を譲り受けることから、当初見通しを上方修正。

Ⅲ-2. ご参考:グループ会社一覧

(2010年7月末現在)

	社名	出資 比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)ネットケア	100%	ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	 (株)トラストネットワークス	74.2%	ATM・ネットワークの運営等
	 GDX Japan(株)	62.3%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 TAIHEI COMPUTER	45%	ポイント管理システムの提供等

Ⅲ-3. ご参考:1Q10 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY09	4Q	1/19	IIJ、内閣府の意見聴取サイト「ハトミ. com」のWebインフラをクラウドサービスで構築
		1/26	IIJ、「IIJポストオフィスサービス」において送信ドメイン認証技術「DKIM」に対応
		1/28	IIJ、IIJモバイルサービス/タイプD対応の業務用PDAを提供開始
		2/4	連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ
		2/12	平成22年3月期 第3四半期決算発表
		3/4	役員体制の変更および執行役員制度導入に関するお知らせ
		3/23	IIJ-Tech、自社のクラウドサービスにおいてセキュリティ対策基準「PCI DSS」の認定を取得
FY10	1Q	4/8	IIJ、「SMFv2」に関する特許権を日米で取得
		4/12	IIJ、「IIJサーバ証明書管理サービス」に新品目を追加
		5/12	イーシー・ワンとIIJ、クラウド分野において協業
		5/14	IIJ、次世代のモジュール型エコ・データセンターの建設を発表
		5/14	平成22年3月期 決算発表
		5/31	IIJ、IIJセキュアWebゲートウェイサービスに「SSL検査オプション」を追加
		6/1	IIJ、「IIJ GIO ホスティングパッケージサービス」を提供開始
		6/1	AT&TジャパンLLCの子会社株式の取得(子会社化)に関するお知らせ
		6/1	業績予想の修正に関するお知らせ
		6/2	GDX、ファイル転送サービス「GDX Drop Box」のブラウザ版を新たに提供開始
	6/3	IIJ、クラウドを活用した仮想デスクトップソリューション「IIJ GIOリモートオフィス」を提供開始	
	6/28	IIJ、「IIJ GIOストレージサービス」を発表	
	2Q	7/13	IIJ、M2M用W-CDMAモジュール「CWE-640J」向けにIIJモバイルを提供開始
		7/28	IIJ、個人向けサービス「IIJ4U」「IIJmio」のメールサービスでIPv6ネットワークに対応
8/4		IIJ、「IIJファイルサーバリモートバックアップ for NetAppソリューション」を提供開始	

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp

